

1. 調査目的

2019年4月1日の働き方改革を推進するため時間外労働の上限規則が施行されました。施行に向け厚生労働省は医師の働き方改革として、医療従事者の合意形成のもとで業務の移管や共同化（タスク・シフト／シェア）」の検討や取り組みを開始しました。この流れの中で患者にとっての利益を共通目標とし、看護職がさらに専門性を発揮して患者中心の質の高い医療を提供できる環境整備が必要となります。

そこで県内の医療機関におけるタスク・シフト／シェアの現状と今後の取り組みへの考えを把握することを目的とすると共に、タスク・シフト／シェアの推進につなげることを期待して調査した結果をご報告いたします。

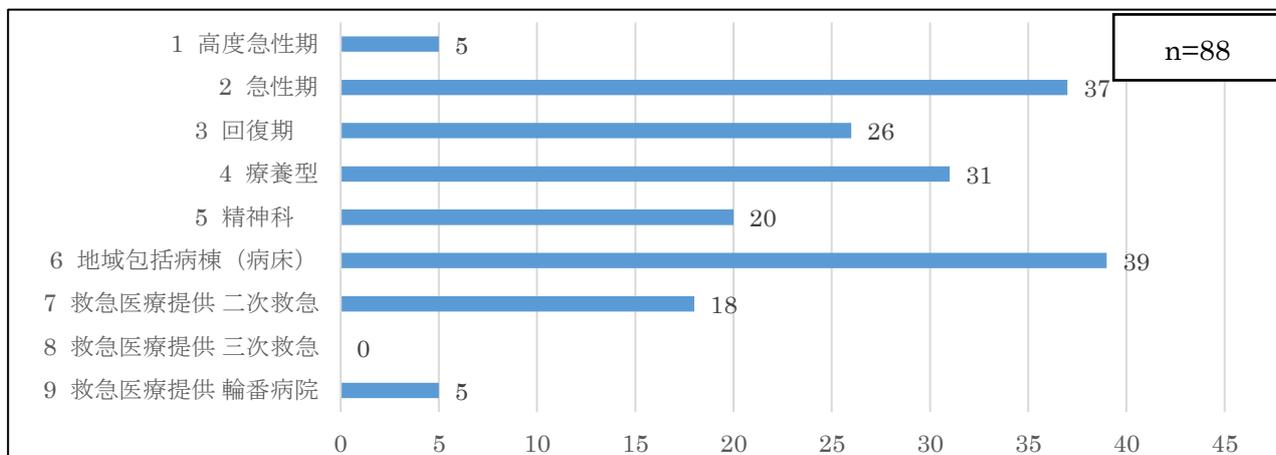
2. 調査概要

- 1) 期間：令和5年10月12日～令和5年11月7日
- 2) 対象：県内50床以上135病院
- 3) 回収率：65.9%（89病院 有効回答88病院）

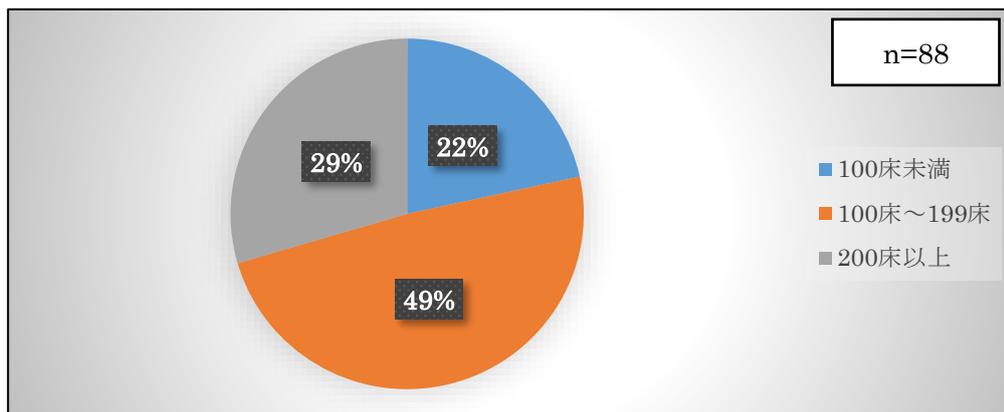
3. 結果

問1. 貴院についてお伺いします。

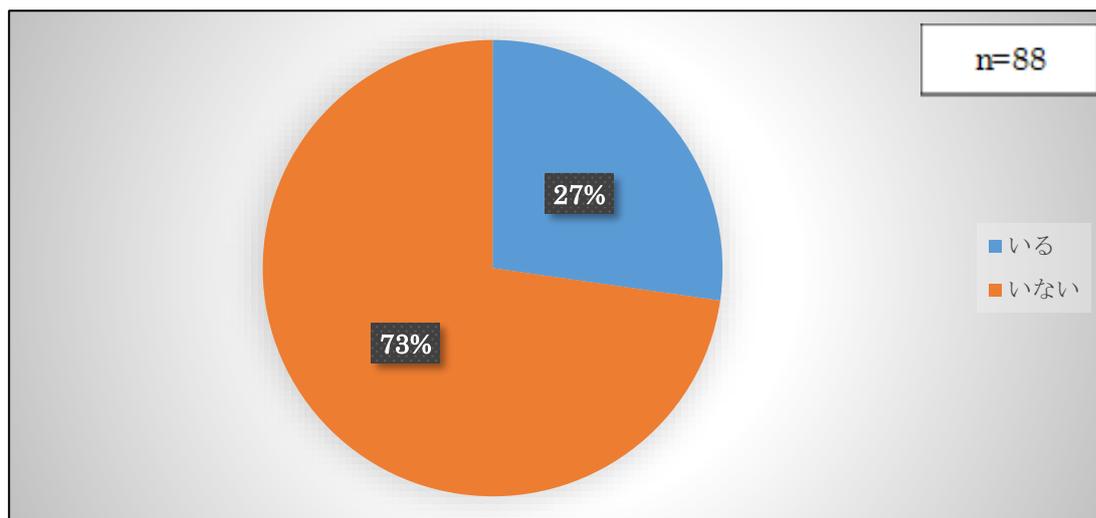
1) 貴院の機能について、以下の中から選択してください。（複数回答可）



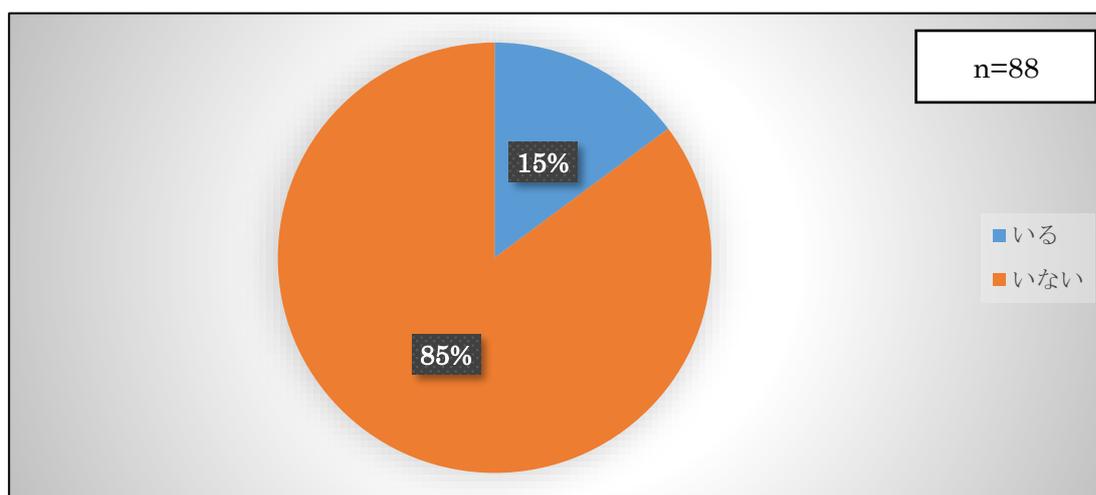
2) 所属施設の病床数について該当するものを選択してください



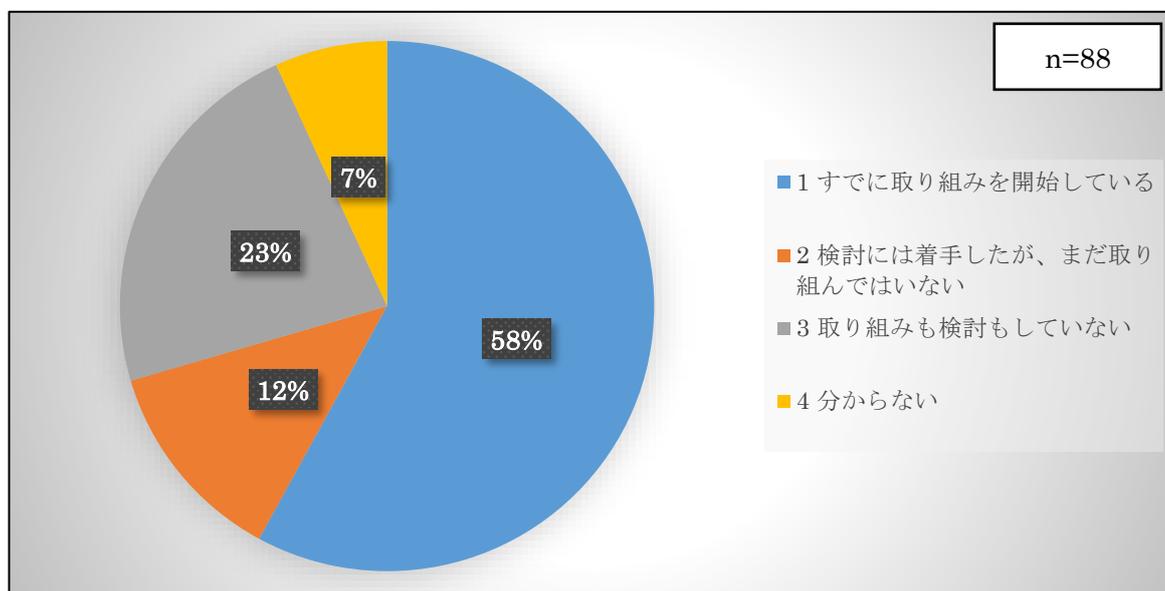
3) 特定行為研修を修了された方がいますか？



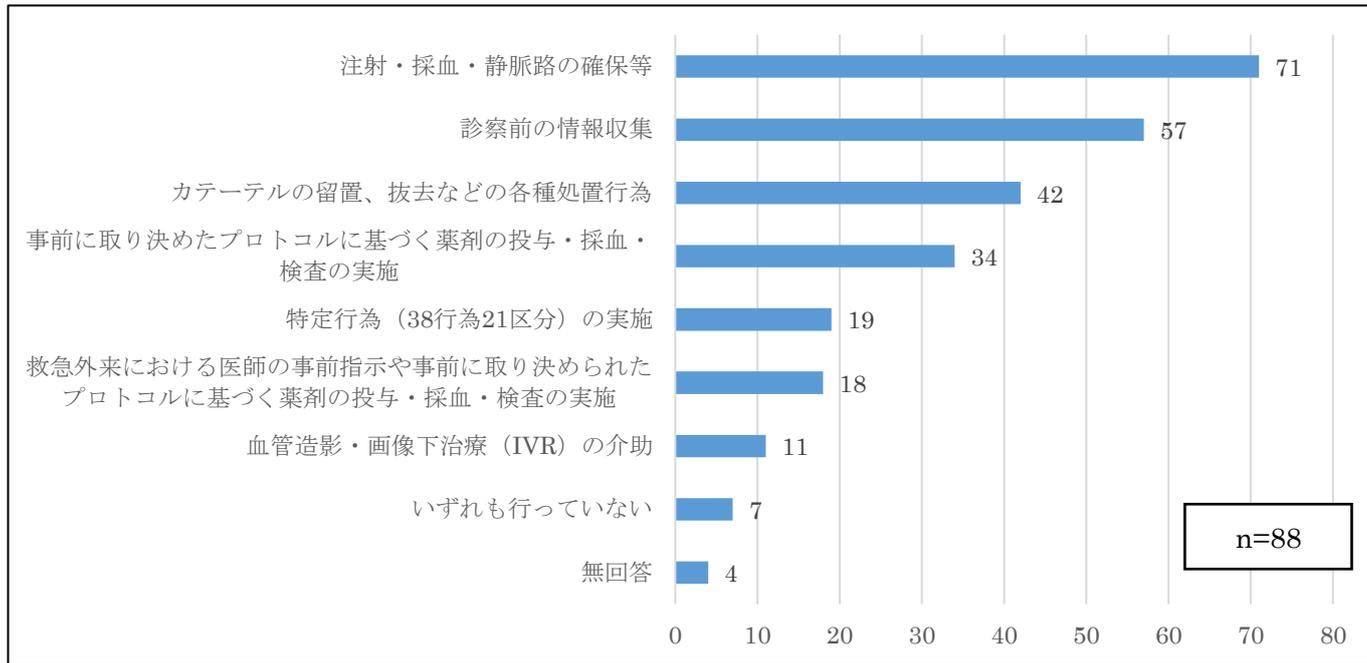
4) 特定行為研修を現在受講中の方はいますか？



問2. タスク・シフト/シェアについてお尋ねします。タスク・シフト/シェアに関する取り組み状況をお答えください。



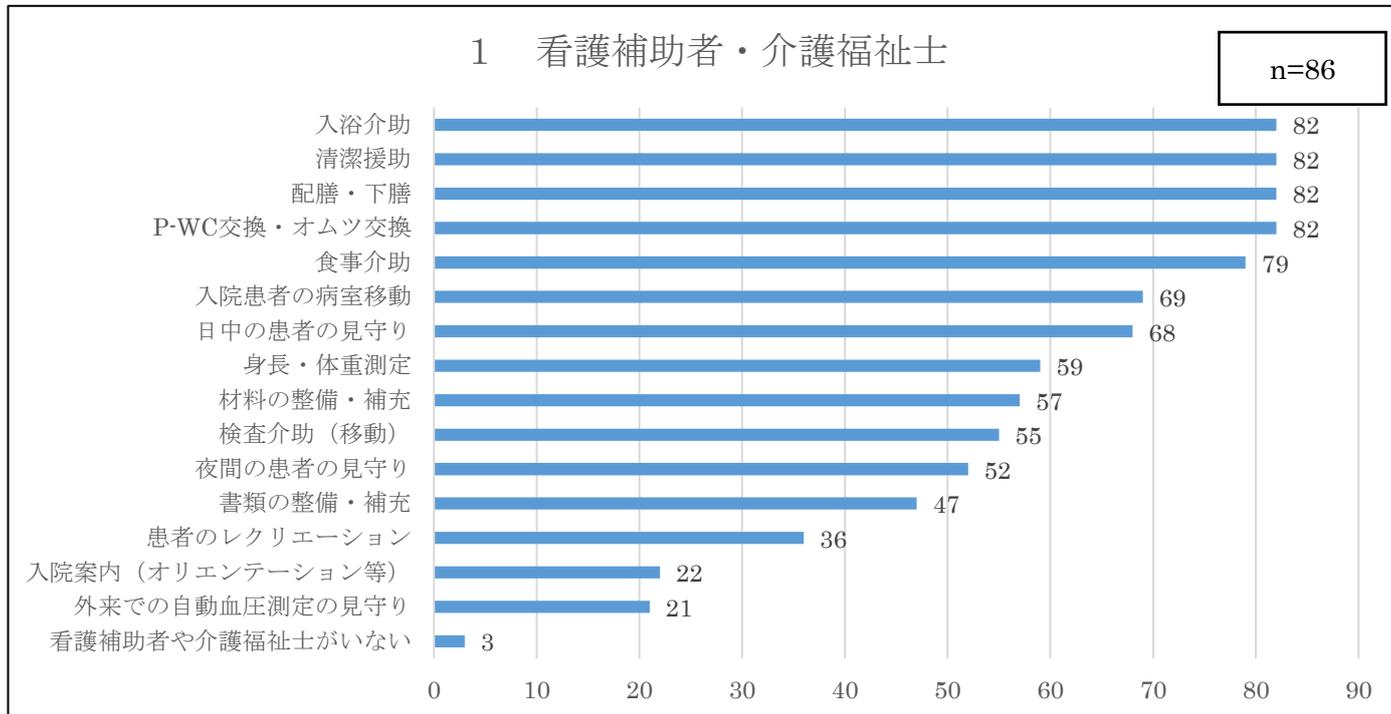
問3. 医師から看護職へタスク・シフト/シェアされている内容はどのような事ですか？あてはまるものを全て選択して下さい。選択肢の他にも、具体的内容がありましたら（ ）に記入して下さい。（複数回答可）



その他の意見

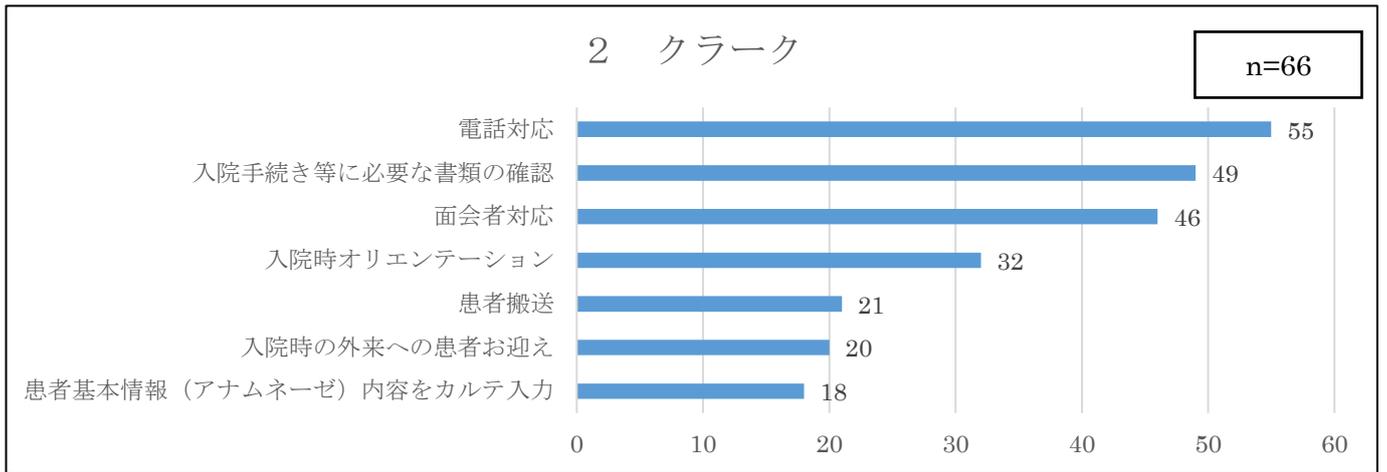
- ・ 抜去などの各種処置行為，この行為についてはタスク・シフトの考え以前より常態的に実施している行為であり特に新たな指示ではない
- ・ 皮膚剥離のプロトコール・発熱時・便秘時
- ・ 包括的指示として、事前に指示簿指示として、指示された状況下では薬剤投与を実施している。（嘔気・疼痛・不眠・血圧上昇・痙攣時等）

問4. 看護職から他職種へタスク・シフト/シェアされている内容はどのような事ですか？あてはまるものを全て選択して下さい。選択肢の他にも、具体的内容がありましたら（ ）に記入して下さい。（複数回答可）



その他の意見

- ・ 看護補助者や介護職が少ないため上記殆どを看護師も実施せざるを得ない状況
- ・ ベッドメイキング
- ・ メッセージャー
- ・ 配茶
- ・ 病衣交換・衣類整頓
- ・ シーツ交換・
- ・ 排泄回数・尿量・食事量の電カル入力

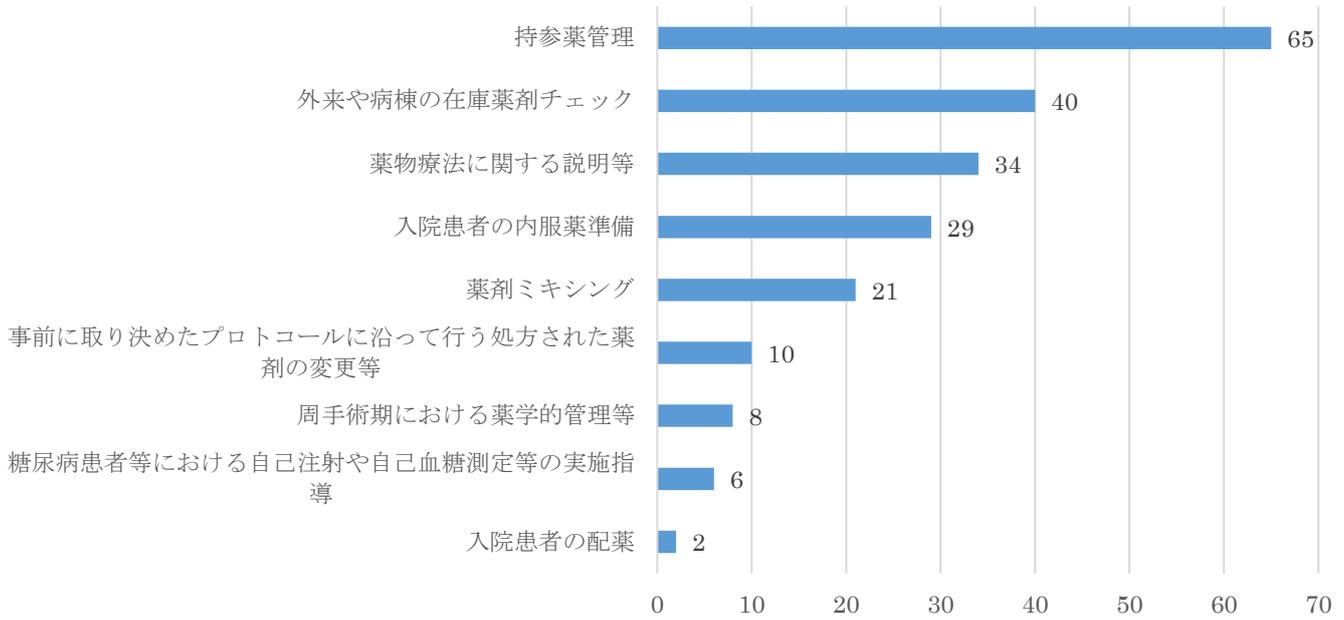


その他の意見

- ・ 病棟在籍のクラークは不在。医師秘書に一部書類類のスキャンを依頼
- ・ 書類の整理補充・スキャン
- ・ 入院時の身長、体重測定
- ・ 車いすでの患者援助
- ・ 実施した清潔ケアの電カル入力・環境整備・退院患者のベッド片付け・日報作成・業務割当表作成・ベッド表作成・ナースコール端末への入院患者の入力・変更
- ・ 材料の整備補充
- ・ 薬局へのメッセージャー業務

3 薬剤師系

n=76

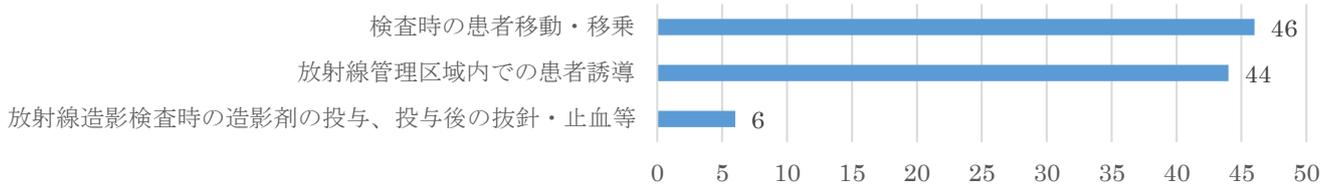


その他の意見

- ・ 退院時処方説明、セット済配薬カートを病棟へ運搬
- ・ 退院処置説明
- ・ 救急カートの期限チェック

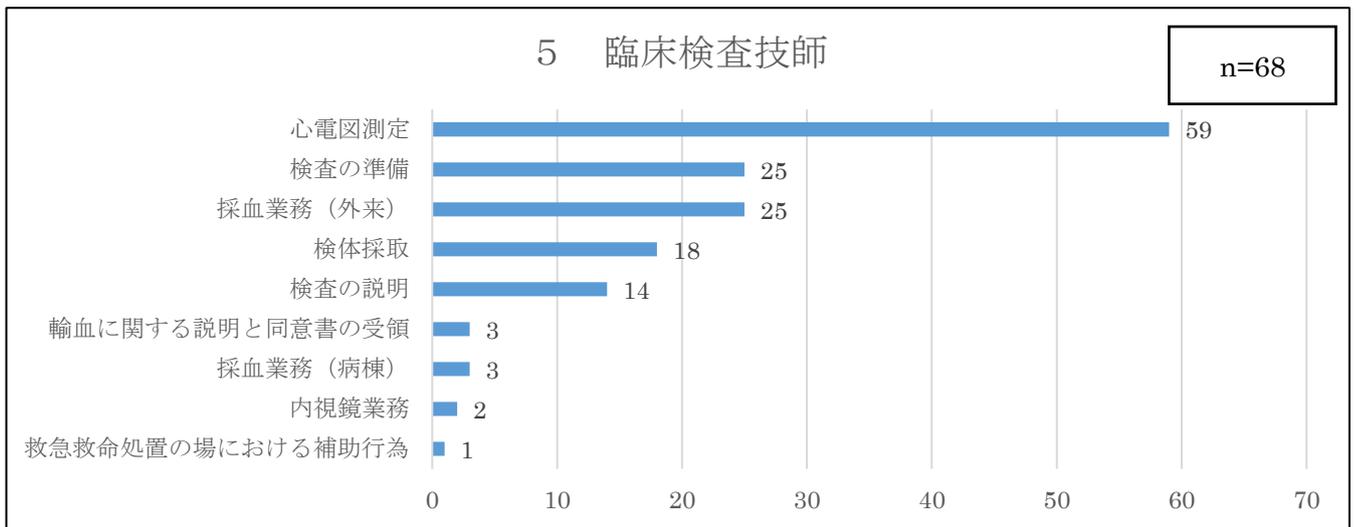
4 診療放射線技師

n=62



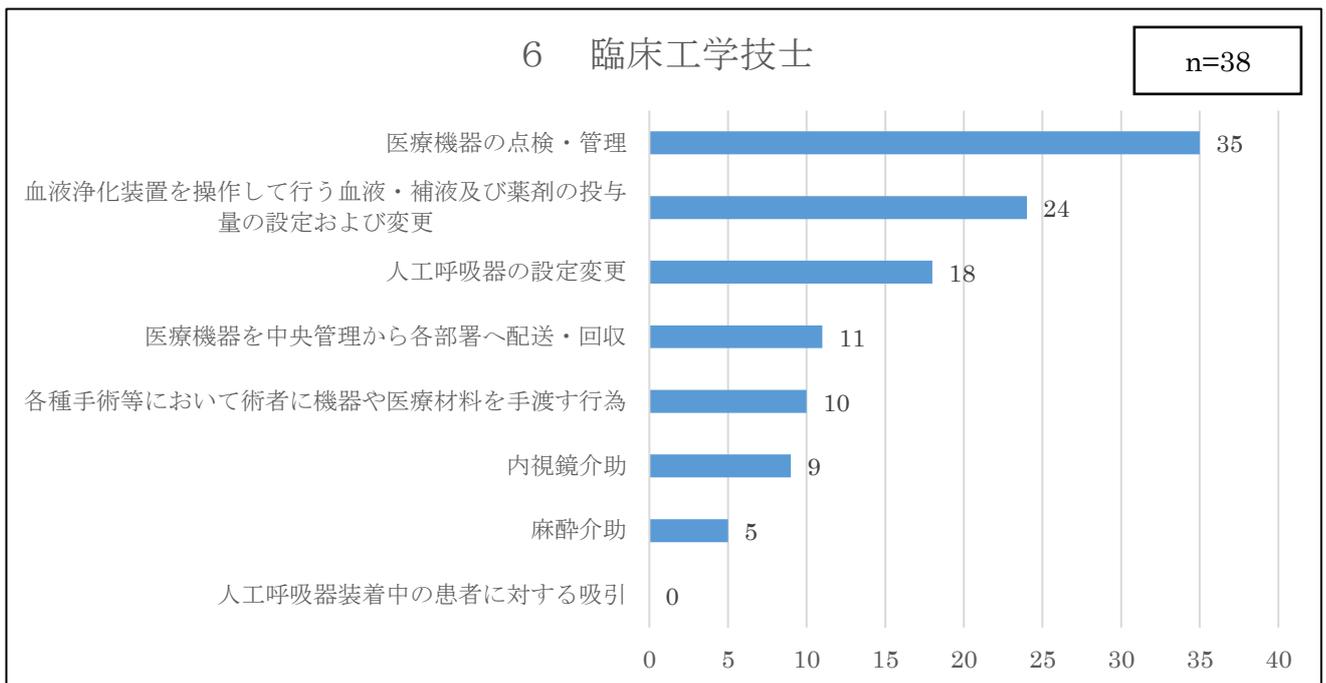
その他の意見

- ・ タスク・シフト、シェアなし
- ・ 抜針のみ
- ・ 読影結果のカルテスキャン
- ・ PEG 交換 診察介助



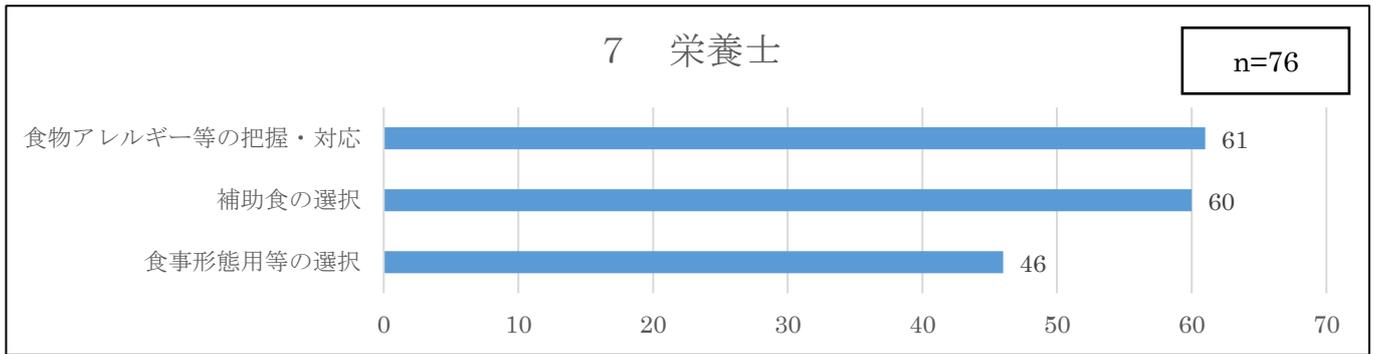
その他の意見

- ・ 患者移送、検体運搬など
- ・ 検体検査のスピッツにラベルを貼り病棟へ運搬
- ・ 朝の採血分検体及び容器の搬送
- ・ タスク・シフト、シェアなし



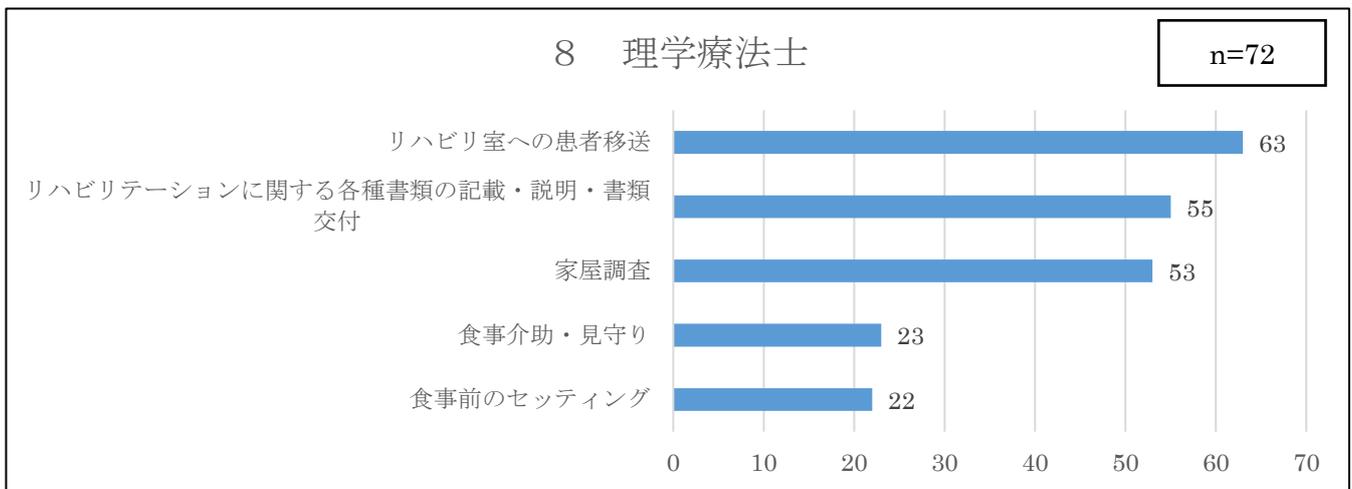
その他の意見

- ・ 中材滅菌
- ・ 工学技士がない



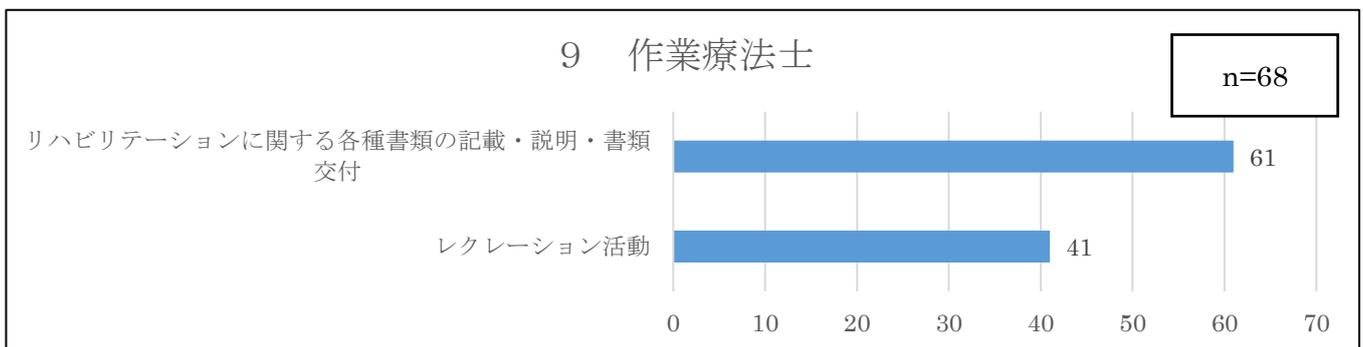
その他の意見

- ・ ミールラウンドで患者の食事状況を確認しカンファレンス等で助言提案



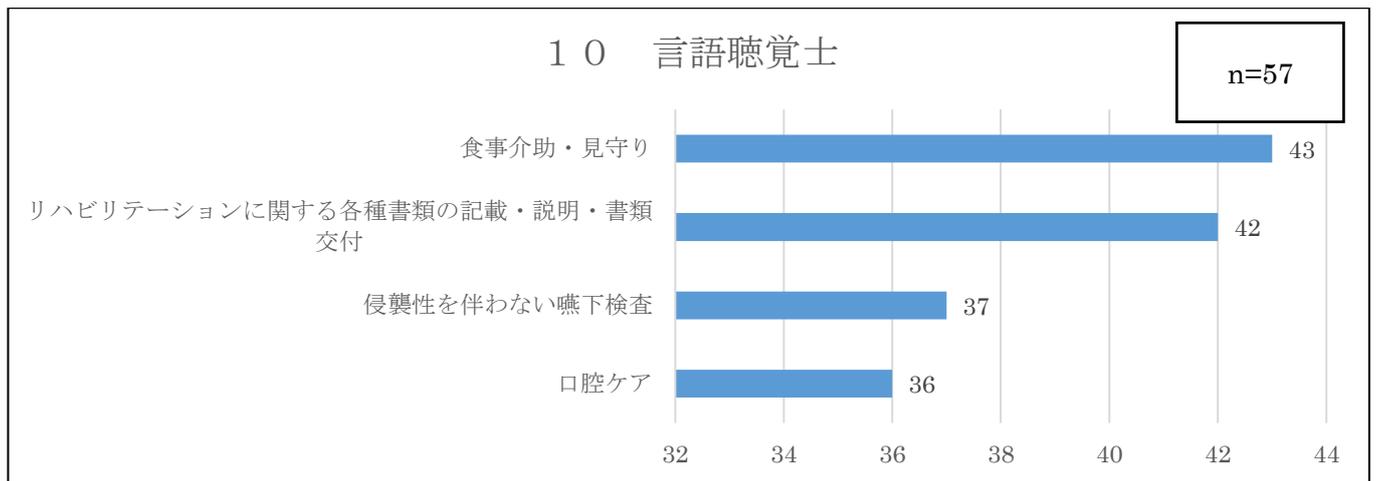
その他の意見

- ・ 喀痰等吸引
- ・ 理学療法士がいない



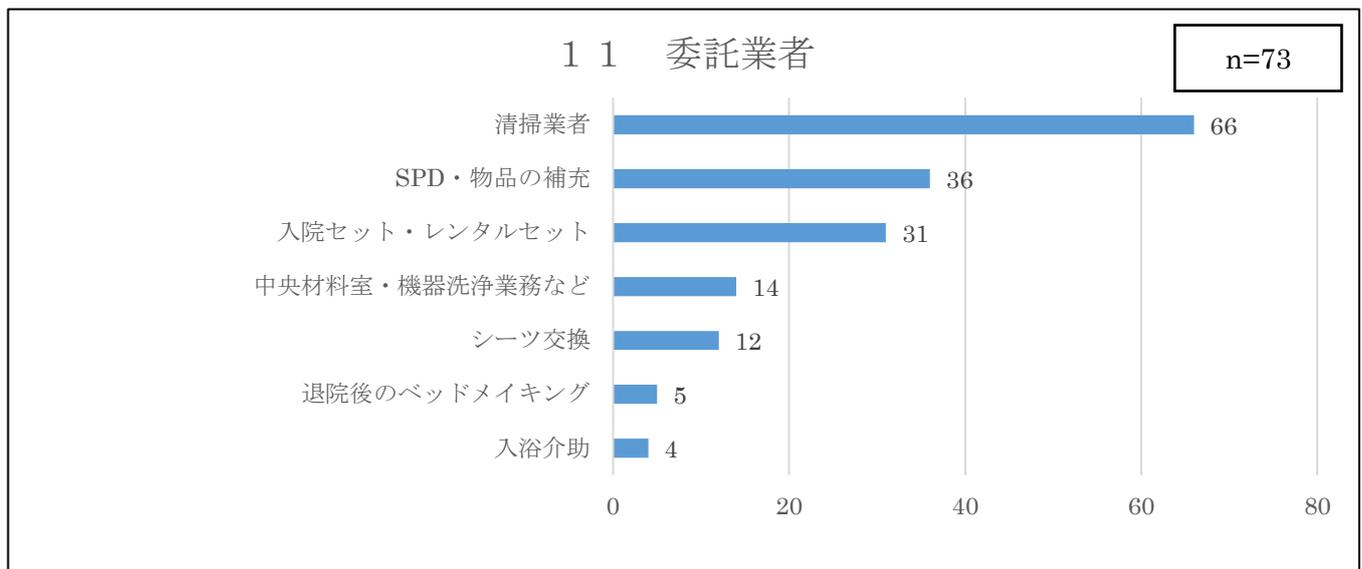
その他の意見

- ・ 患者移送
- ・ リハ室への移送・嚥下障害患者. 家族への指導
- ・ 家屋調査, 食事前のセッティング, 食事見守り



その他の意見

- ・ 患者移送
- ・ 言語聴覚士がいない
- ・ 嚥下機能の評価、嚥下訓練、患者・家族への指導



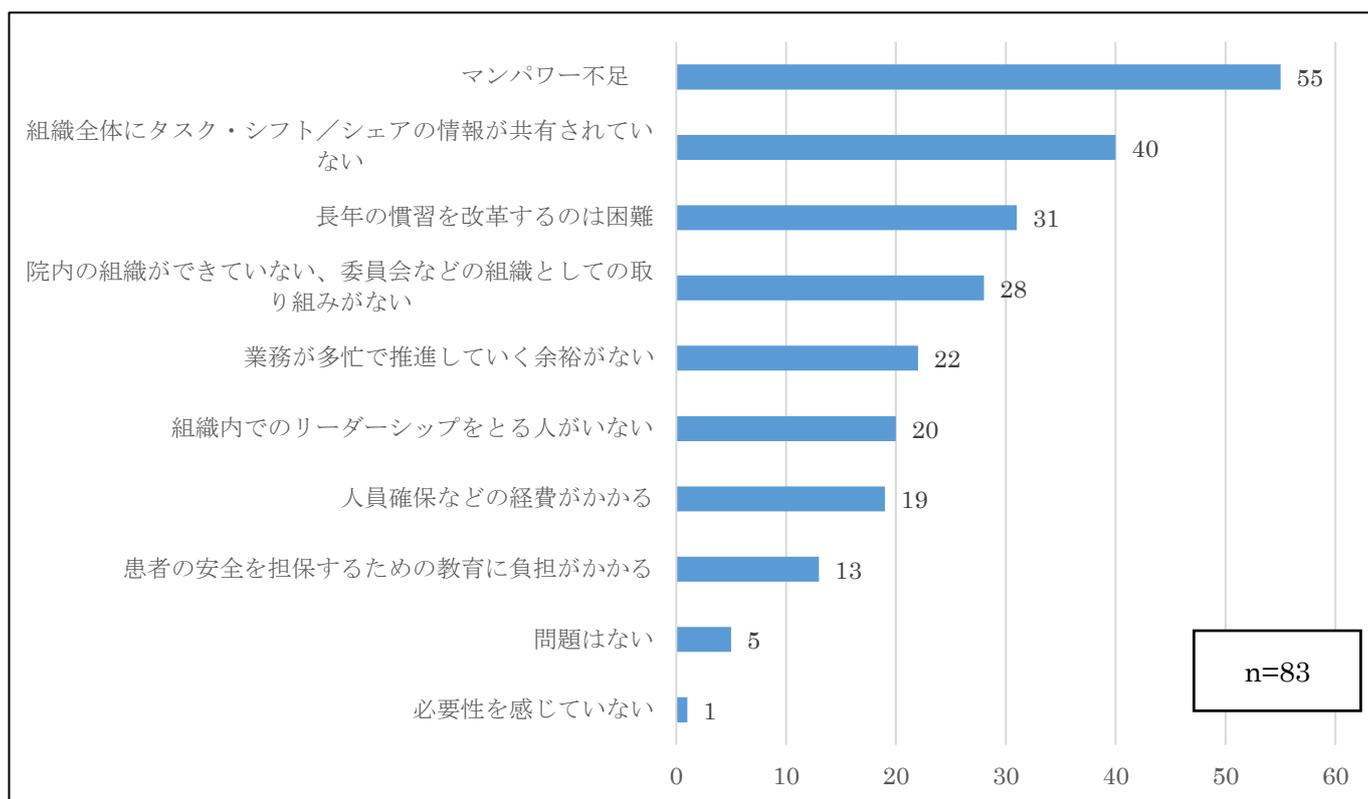
その他の意見

- ・ SPDで物品は補充されるが物品を棚などに移動させるのは看護補助者
- ・ 事務員
- ・ 医療給食サービス

12 その他

- ・ 管理課職員が上記SPD管理、在庫管理などを実施中

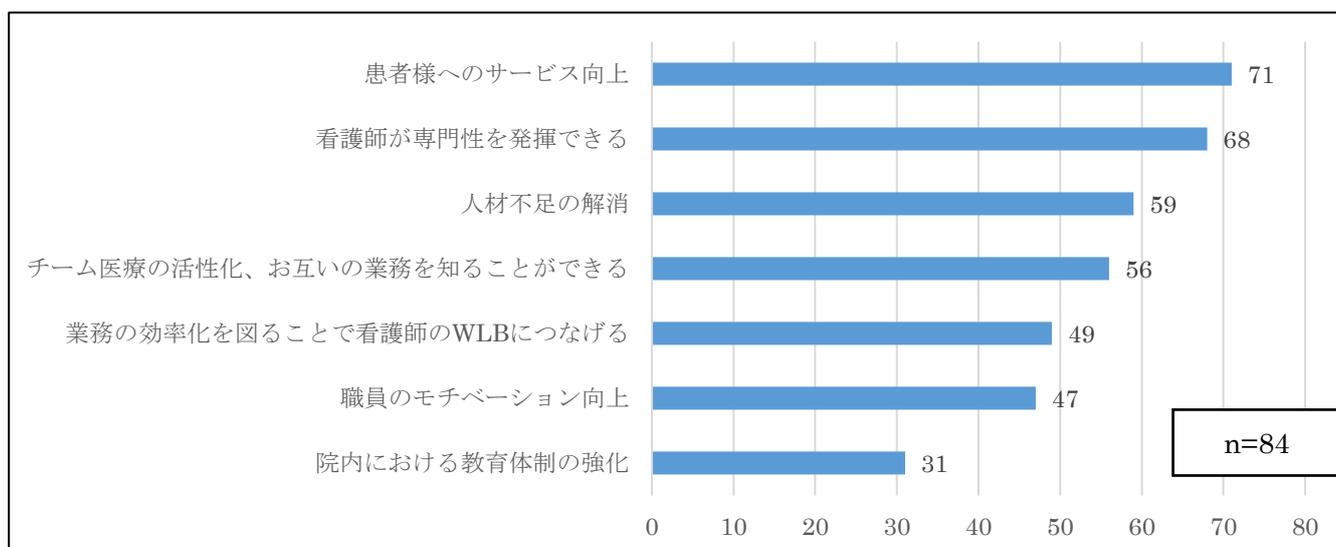
問5. タスク・シフト/シェアを推進するにあたって、問題となる理由を選択して下さい。(複数回答可)



その他の意見

- ・ 部署（職種）によって取り組む姿勢に差がある
- ・ 他部署のマンパワー不足により、看護部へタスク・シフトが増えている
- ・ 一部他職種と協働しながら実施しているが、時間的制約がある場合、最終的には看護師が実施している状況は変わらない。看護補助者や介護職が少ないため看護師でなくてもいい業務を実際は看護師がやっている状況
- ・ タスク・シフト/シェアする際、全面委譲ということではなく、一部のみが多く中途半端になり、かえって混乱する場合がある。会議で話し合っても、末端までの周知(理解)ができていないことも多い
- ・ 看護師以外の職種も募集をかけても希望がない
- ・ 現在すでに実施していること以外については、あまり自施設に当てはまらない

問6. タスク・シフト/シェア が実現したら、どのような効果が期待されますか。 あてはまるものを選択して下さい。(複数回答可) その他は、具体的内容を()に記入して下さい。



その他の意見

- ・ 定着率の向上
- ・ 看護師の負担軽減対策で実施している以上の業務委譲は現時点では困難でありすでに取り組んでいる内容ばかりの回答である。当院の医師は殆ど定時帰宅している。看護補助者へ委譲したくても人材確保が厳しい状況であり、看護師で賄っている状況について抜本的な対策が必要と感じる
- ・ ストレス減 離職防止
- ・ 患者家族が望む医療看護を遂行するためには医師看護師業務の内容を他職種へ知ってもらいたい。お互いが実施可能な事やるべきことを認識しそれぞれの職種もさらに質向上につながると思います。当院ではチーム設置(委員会)がまだできていないので病院全体ですすめていきたい

4. 労働環境委員会の今後の取り組み

今回アンケートを集計し、県内の医療機関におけるタスク・シフト/シェアの現状を考える機会となった。臨床工学士などの配属がない、また人員不足により他職種へのタスク・シフト/シェアが困難な施設もあった。このような状況の中、看護職がさらに専門性を発揮し、患者の利益を共通目標とし、各施設がさらなる推進につながるように、今後も労働環境委員会として情報提供を行っていきたい。